



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月9日

上場会社名 株式会社湖池屋
コード番号 2226 URL <https://koike-ya.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3979-2116

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	25,453	24.9	1,646	333.8	1,569	278.9	1,003	354.3
2023年3月期第2四半期	20,383		379		414		220	

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,165百万円 (176.7%) 2023年3月期第2四半期 421百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	188.08	
2023年3月期第2四半期	41.40	

(注) 2022年3月期は決算期変更の経過期間であるため、前第2四半期連結累計期間の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	34,087	15,990	46.3
2023年3月期	29,576	15,194	50.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 15,793百万円 2023年3月期 15,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		65.00	65.00
2024年3月期(予想)				65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,500	13.3	3,000	69.1	2,900	60.5	1,700	45.9	318.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日(2023年11月9日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	5,335,000 株	2023年3月期	5,335,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,041 株	2023年3月期	979 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	5,333,983 株	2023年3月期2Q	5,334,096 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は2023年11月10日(金)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、国内においては、前連結会計年度にリニューアルを敢行した「コイケヤポテトチップス」をはじめ、各ブランドとも総じて販売が好調であり、売上・利益ともに計画を上回る水準で推移しました。

海外においても、価格改定や各種コスト低減が奏功し、大幅に利益が改善しました。業績は次のとおりです。売上高は、25,453百万円（前年同期比24.9%増）となりました。利益につきましては、営業利益1,646百万円（前年同期比333.8%増）、経常利益1,569百万円（前年同期比278.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,003百万円（前年同期比354.3%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

<国内>

2024年3月期は、「高付加価値商品等の継続拡販」「物価高騰対策及び製造体制の強化」「継続的な新機軸商品開発」を、3つの戦略テーマに据え事業展開を進めております。

当第2四半期連結累計期間においては、前連結会計年度にブランドの現代化を目的にフルリニューアルを実施した「コイケヤポテトチップス」の販売が好調でした。また、「スコーン」や大袋商品を中心に既存ブランドが好調なことに加え、積極的に広告宣伝投資を行うなどしたことで、計画を大きく上回る売上となりました。

商品戦略としては、「Largeサイズ」、「ご褒美サイズ」、「いつでもチャック」など、多数の大袋商品を展開し、拡大している大袋需要に応えられるラインナップを揃えました。「湖池屋プライドポテト」や、リニューアルを実施した「The 素材のご馳走」、「ピュアポテト」などを含む高付加価値商品群においても、新商品や広告宣伝投資などを行い、拡販に努めました。また、エリア限定販売から全国発売へ拡大した個包装商品「濃いじゃが」だけでなく、次なる新機軸商品の開発にも取り組んでおります。

一方、費用面では、原材料価格や光熱費上昇による継続的な影響を受けておりますが、生産・物流の効率化をはじめとしたコスト削減施策を講じるとともに、商品品質の維持と安定的な利益確保のために価格改定を行うことで利益確保に努めました。

以上のとおり、コスト増加の影響がありながらも売上数量を大きく拡大し、適切な価格改定を行った結果、国内の売上高は22,724百万円（前年同期比25.8%増）となり、セグメント利益は1,518百万円（前年同期比234.2%増）となりました。

<海外>

台湾事業では、各種ポテトチップスの大幅な価格改定を遂行することで売上・利益ともに好調に推移しております。また、ポテトチップス以外の商品群の販売比率を高めることで、馬鈴薯原料への依存度低下を図り、収益性向上に努めております。

ベトナム事業では、輸出事業の好調もあり、売上を大幅に拡大しております。また、価格改定や各種コスト削減施策も奏功し、利益も大幅に改善しております。

タイ事業では、現地流通大手との取り組みの活発化に加えて、スーパーなどで店頭フォロー活動を強化し、売上を拡大しております。また、商品規格の見直しなどの原価低減にも取り組んでおり、利益確保に努めております。

以上により、海外の売上高は2,729百万円（前年同期比17.5%増）となり、セグメント利益は160百万円（前年同期はセグメント損失8百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ4,510百万円増加し、34,087百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加（2,203百万円）、原材料及び貯蔵品の増加（786百万円）及び受取手形及び売掛金の増加（671百万円）によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ3,714百万円増加し、18,096百万円となりました。主な要因は、返金負債の減少（316百万円）の一方、買掛金の増加（2,615百万円）及び未払金の増加（1,829百万円）によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ796百万円増加し、15,990百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加（656百万円）によるものであります。なお、自己資本比率は46.3%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2023年5月10日に公表した2024年3月期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,510	6,714
受取手形及び売掛金	8,684	9,355
商品及び製品	1,335	1,548
仕掛品	51	46
原材料及び貯蔵品	790	1,576
その他	438	588
貸倒引当金	△1	△7
流動資産合計	15,809	19,823
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,481	4,539
機械装置及び運搬具（純額）	4,859	5,048
土地	2,193	2,210
その他（純額）	158	369
有形固定資産合計	11,691	12,167
無形固定資産		
その他	275	249
無形固定資産合計	275	249
投資その他の資産		
その他	1,799	1,846
投資その他の資産合計	1,799	1,846
固定資産合計	13,766	14,263
資産合計	29,576	34,087
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,266	6,881
短期借入金	500	500
未払金	1,960	3,790
返金負債	2,374	2,057
未払法人税等	512	570
賞与引当金	347	346
役員賞与引当金	—	12
その他	1,108	851
流動負債合計	11,069	15,010
固定負債		
長期借入金	746	534
退職給付に係る負債	1,928	1,933
その他	639	618
固定負債合計	3,313	3,086
負債合計	14,382	18,096

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,269	2,269
資本剰余金	2,153	2,153
利益剰余金	10,603	11,259
自己株式	△3	△3
株主資本合計	15,023	15,679
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	9
為替換算調整勘定	118	196
退職給付に係る調整累計額	△102	△92
その他の包括利益累計額合計	24	114
非支配株主持分	145	196
純資産合計	15,194	15,990
負債純資産合計	29,576	34,087

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	20,383	25,453
売上原価	14,508	17,378
売上総利益	5,875	8,074
販売費及び一般管理費	5,495	6,428
営業利益	379	1,646
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	8	9
持分法による投資利益	6	0
為替差益	25	18
補助金収入	0	57
その他	4	3
営業外収益合計	46	92
営業外費用		
支払利息	4	3
固定資産除却損	6	40
支払補償費	—	80
その他	0	45
営業外費用合計	11	168
経常利益	414	1,569
税金等調整前四半期純利益	414	1,569
法人税等	158	503
四半期純利益	256	1,066
非支配株主に帰属する四半期純利益	35	62
親会社株主に帰属する四半期純利益	220	1,003

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	256	1,066
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	139	78
退職給付に係る調整額	10	10
持分法適用会社に対する持分相当額	14	9
その他の包括利益合計	165	99
四半期包括利益	421	1,165
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	370	1,092
非支配株主に係る四半期包括利益	50	72

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会等が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、スナック菓子の製造販売を中心に事業活動を展開し、「国内」、「海外」の2つを報告セグメントとしております。

「国内」は当社が、「海外」においては在外連結子会社が、それぞれ独立した経営単位で事業活動を展開しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	18,060	2,322	20,383	—	20,383
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	18,060	2,322	20,383	—	20,383
セグメント間の内部売上高又は振替高	79	61	141	△141	—
計	18,140	2,384	20,525	△141	20,383
セグメント利益又は損失(△)	454	△8	446	△66	379

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△66百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	22,724	2,729	25,453	—	25,453
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	22,724	2,729	25,453	—	25,453
セグメント間の内部売上高又は振替高	54	113	168	△168	—
計	22,779	2,842	25,622	△168	25,453
セグメント利益	1,518	160	1,678	△32	1,646

(注) 1. セグメント利益の調整額△32百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。